

2022 年度大分県在宅医療セミナー報告書

近年、高齢化の進展等により在宅医療のニーズは高まっており、より多くの医療機関に訪問診療、往診などの在宅医療を担っていただく必要があります。

そこで 2020 年度から、大分県からの委託で大分大学医学部附属地域医療学センターが事業を担い、医療従事者向けの在宅医療に関するセミナー等の事業を実施することとなりました。

今年度は大分県内、県外で在宅医療を精力的に行っている先生方にご講演をお願いし、計 3 回のセミナーを開催しました。今回も新型コロナウイルス感染症の影響で大人数が一つの会場に集まり開催することが困難であり、WEB 開催としました。

第 1 回は 2022 年 10 月 15 日に開催しました。私塩田が「大分県の在宅医療の現状と課題」と題して講演を行わせていただきました。特別講演は医療法人おひさま会おひさまクリニック管理医師、リフレクデザイン合同会社代表の荒 隆紀先生にご講演を賜りました。まごころ(周りの状況、ご希望、こころや認知機能、老人ベース機能)で高齢者を評価する点など勉強になりました。

第 2 回は 2023 年 1 月 12 日に開催しました。ヒカリノ診療所の平山匡史先生に「ヒカリノの開業準備で『やってよかったこと』、『そうでもなかったこと』」と題して在宅診療所開業準備のご苦労された点をご講演賜りました。また、久留米市にてかかりつけ医として外来診療を行いながら在宅医療を展開している今立内科クリニックの江口幸士郎先生に「葦の髄から在宅を覗く ～町場の家庭医からみた在宅のこれから～」と題してご講演を賜りました。しくじり事例を提示していただきながら、在宅医療のノウハウを学ぶことができました。

第 3 回は 2023 年 2 月 18 日に開催しました。厚生労働省医政局総務課医療政策企画官の古川弘剛先生に「新たな地域医療構想の策定」についてご講演を賜りました。2040 年にむけて、訪問診療を必要とする人々が増加すること、在宅医療の必要性を実感する内容でした。また、三重県四日市医師会会長、笹川内科胃腸科クリニック院長の山中賢治先生に「超高齢社会に向けた四日市医師会における在宅医療の取り組み」と題してご講演を賜りました。15 年ほどかけて、四日市医師会が在宅医療の体制をどのように構築していったか、どのような工夫、ご苦労があったかを大変わかりやすく説明していただき、今後の大分での在宅医療のシステム作りに参考になると実感しました。

3 回のセミナーでのべ 145 名(医師 100 名、医師以外 45 名)が参加され、参加者から活発な質問、コメントもあり、今後の大分県の在宅医療の向上に貢献できたと思われま

文責：塩田星児